

三浦工業株式会社

決算説明及び業績予想 ミウラの成長戦略



三浦工業株式会社

代表取締役 社長執行役員CEO 宮内 大介

開催日：2017年11月21日(火)

熱・水・環境のベストパートナー



目次

1	会社概要	2
2	2018年3月期第2Q決算の概要	4
3	利益配分、株式の状況	14
4	国内戦略＜地冷貫流化戦略＞	16
5	参考資料	26

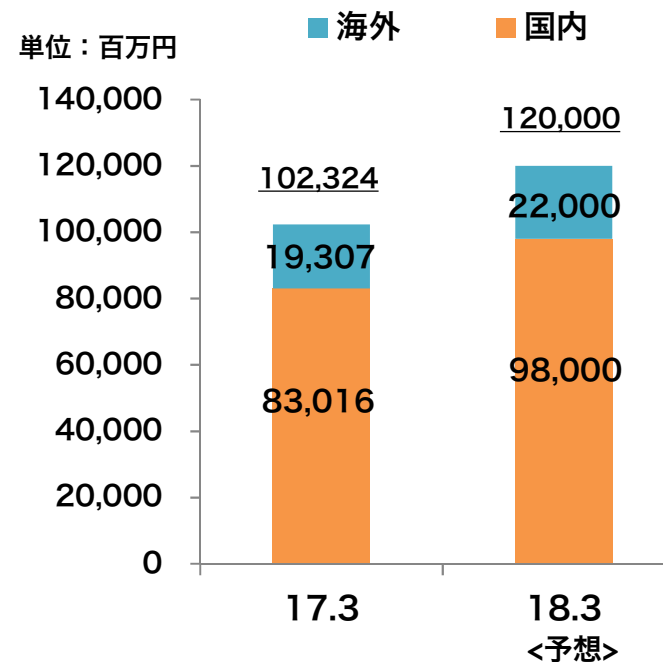
注意事項

本資料のうち、今後の計画・見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値とは異なる場合があります。掲載内容には、細心の注意を払っておりますが、掲載された内容に基づいて被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

1. 会社概要

社 名	三浦工業株式会社
所 在 地	愛媛県松山市堀江町 7 番地
設 立	1959年 5 月
ミウラグループ (三浦工業含む)	国内 13社、海外 15社 ※ 2017年9月30日現在
従 業 員	グループ 5,421名 (うち海外 1,443名)
事業内容	機器販売事業 メンテナンス事業
格付情報	発行体格付 A (維持) 2017年10月公表 株式会社格付投資情報センター (R&I)

【連結売上】



<IFRS>	単位	17年3月期	18年3月期予想 (修正後)	18年3月期予想 (修正前)
売上収益	百万円	102,324	120,000	110,000
営業利益	百万円	12,401	14,000	11,800
税引前利益	百万円	12,898	14,300	12,600
親会社の所有者に 帰属する当期利益	百万円	9,012	9,700	8,700
基本的 1 株当たり 当期利益	円	80.08	86.19	77.31

2. 2018年3月期第2Q決算の概要

業績

[単位：百万円]

<IFRS>	16年9月期	17年9月期	18年3月期 通期予想(修正後)
売上収益	46,793	55,156	120,000
売上原価	27,236	32,569	71,200
販管費	13,901	16,280	35,600
その他の収益	299	416	800
その他の費用	175	31	—
営業利益	5,778	6,692	14,000
税引前利益	5,664	6,909	14,300
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	3,836	4,794	(通年) 9,700

決算の概要

国内

ボイラ及び関連機器、食品機械等が好調 ランドリー事業追加

小型貫流ボイラ及び関連機器：鉄鋼・化学工業の分野で好調

船用：中小型船の建造量減少、海外物件の受注減少により減収

ランドリー：外国人観光客の増加等により順調に推移

海外

中国のガス焚きボイラへの入替等による売上増

中国：飼料・ダンボール業界を中心に売上増

韓国、台湾・アセアン地域の販売も好調に推移

計画実績対比

[単位：百万円]

	2Q計画	2Q実績
売上収益	51,000	55,156
営業利益	5,300	6,692
税引前利益	5,700	6,909
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,800	4,794

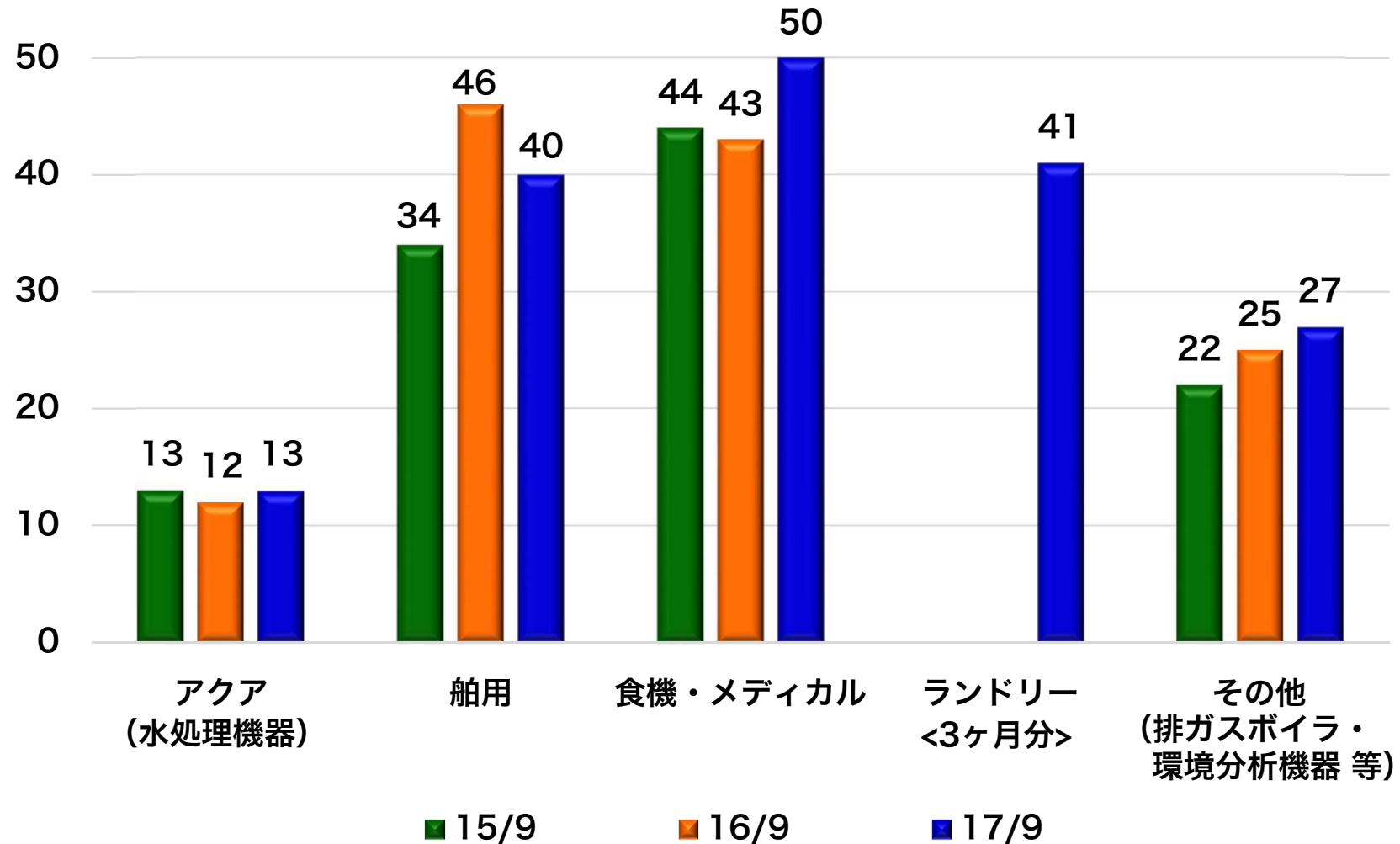
単位：億円

利益の増加理由（税引前利益）



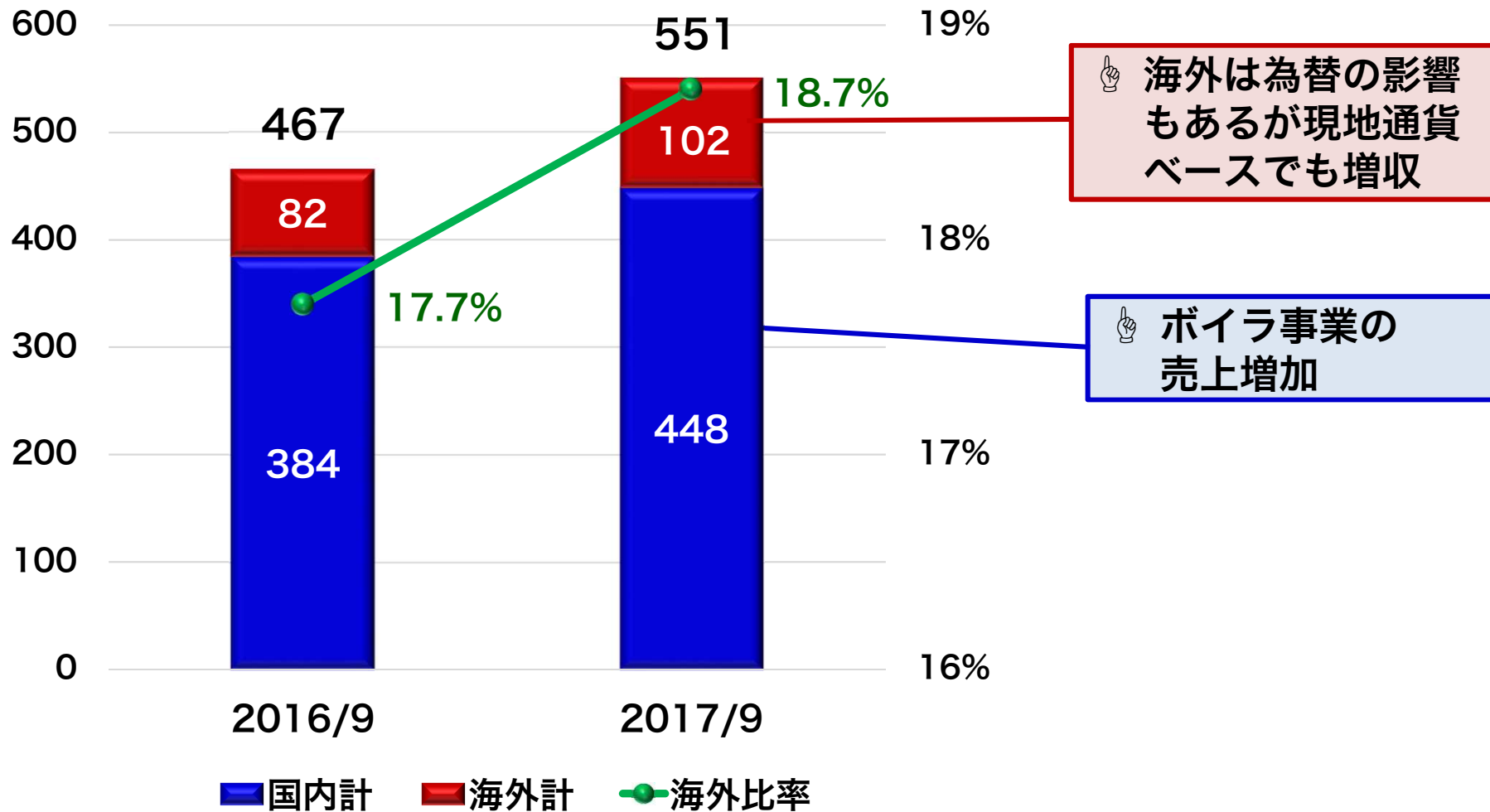
国内売上の分析

単位：億円



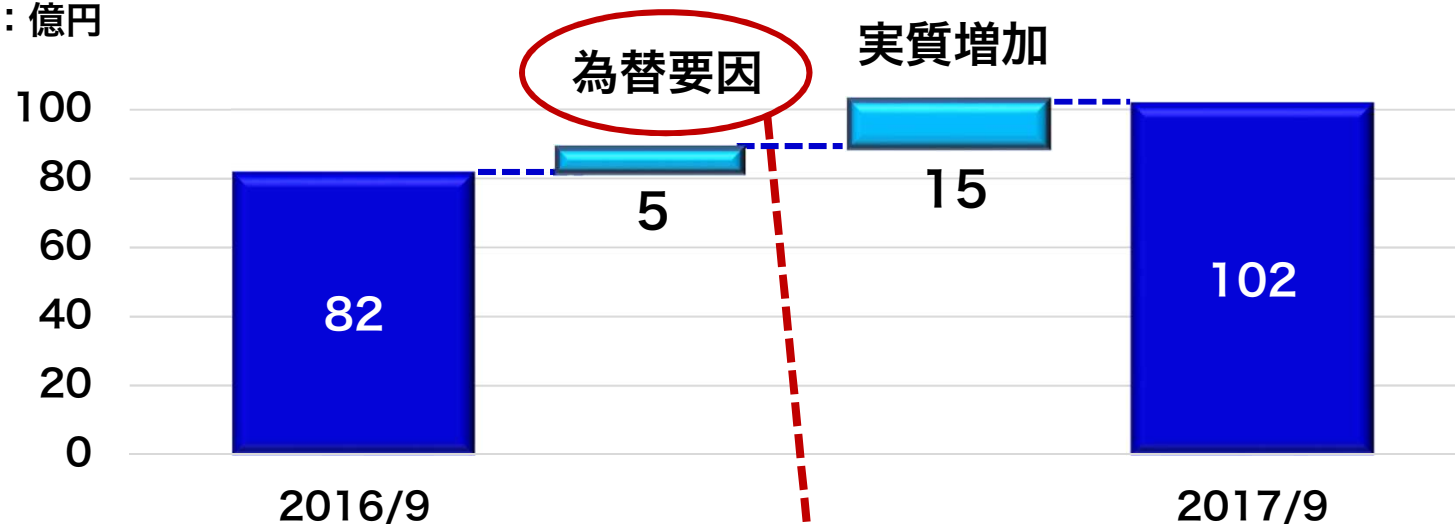
国内及び海外売上推移（IFRS）

単位：億円



海外売上増加要因分析 海外は為替の影響もあるが、実質的にも売上を伸ばしている

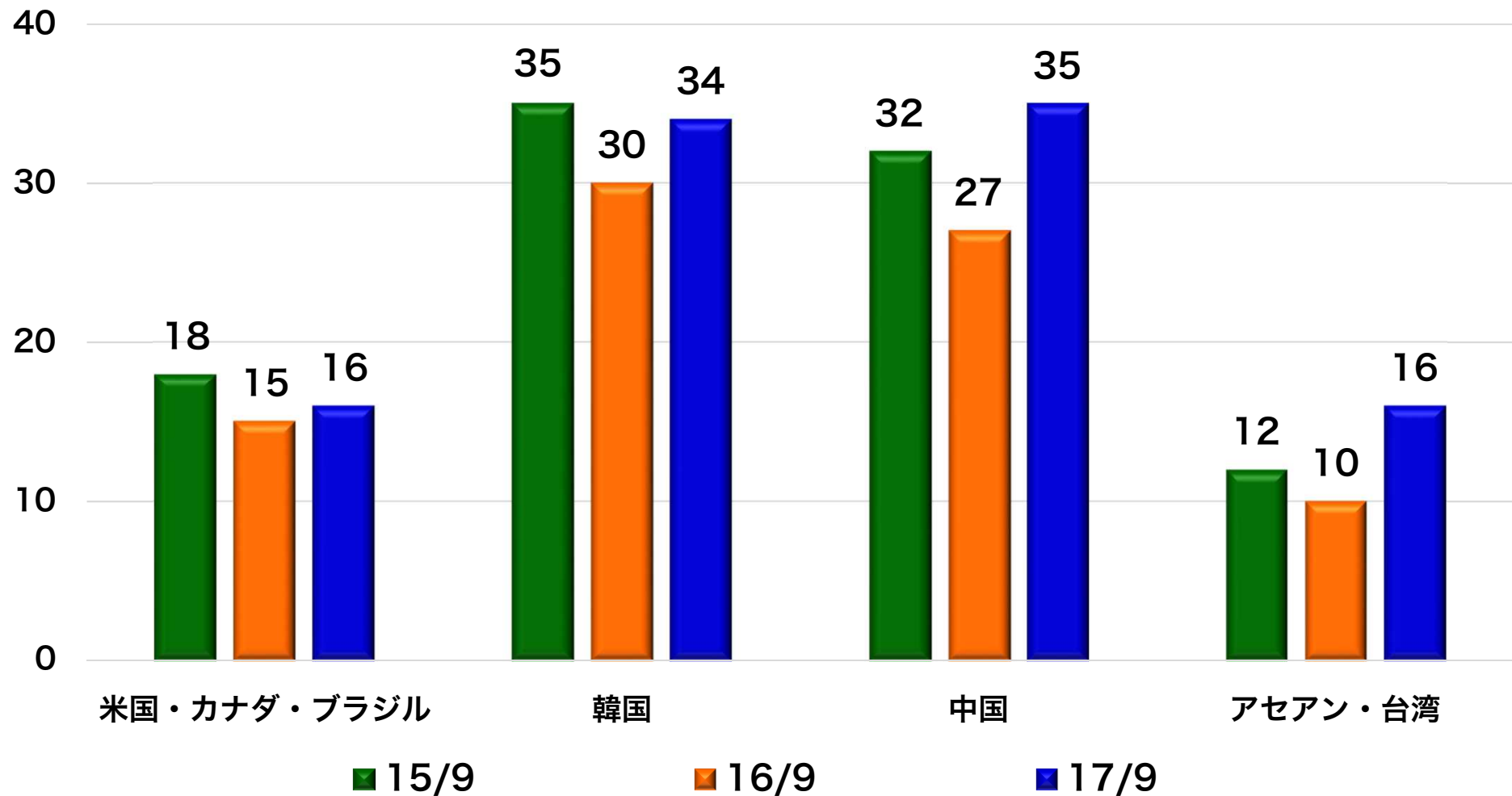
単位：億円



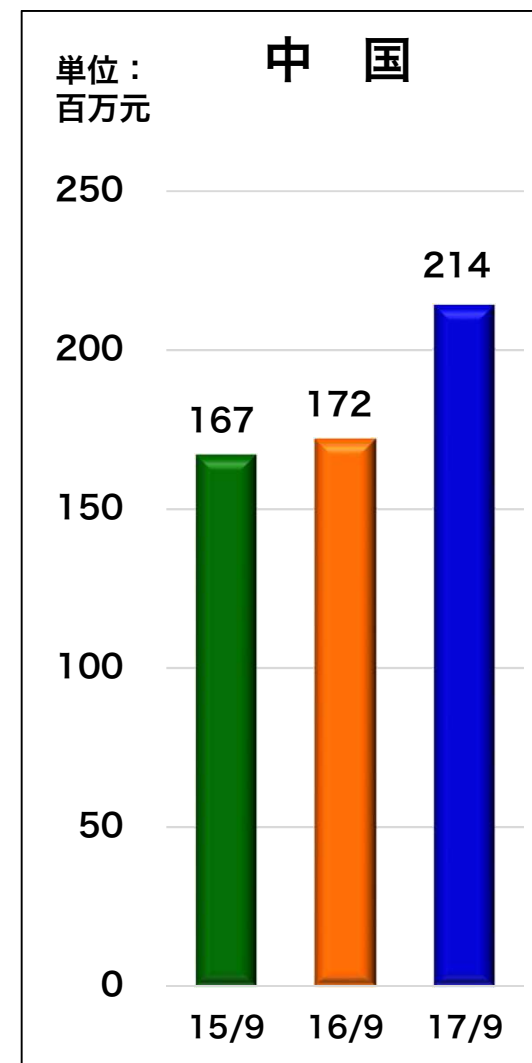
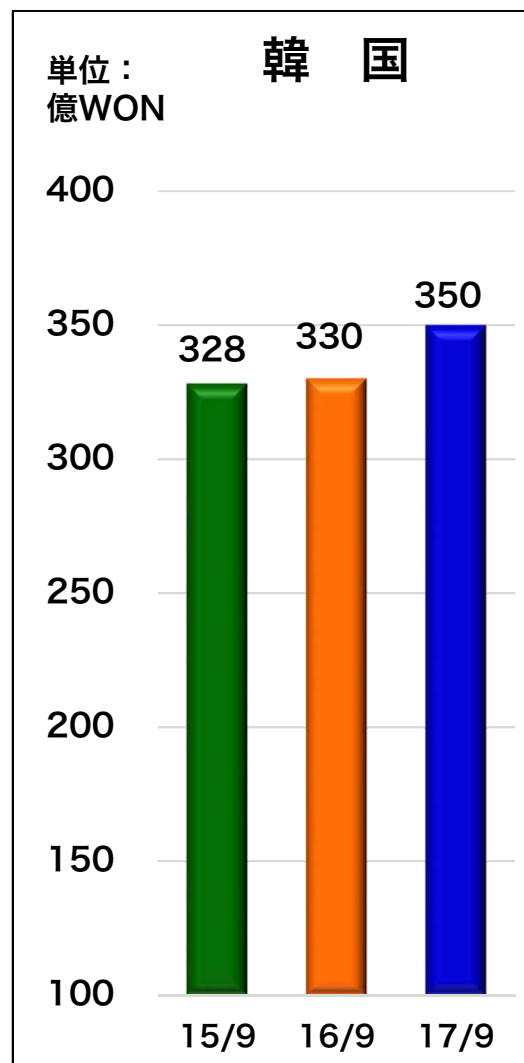
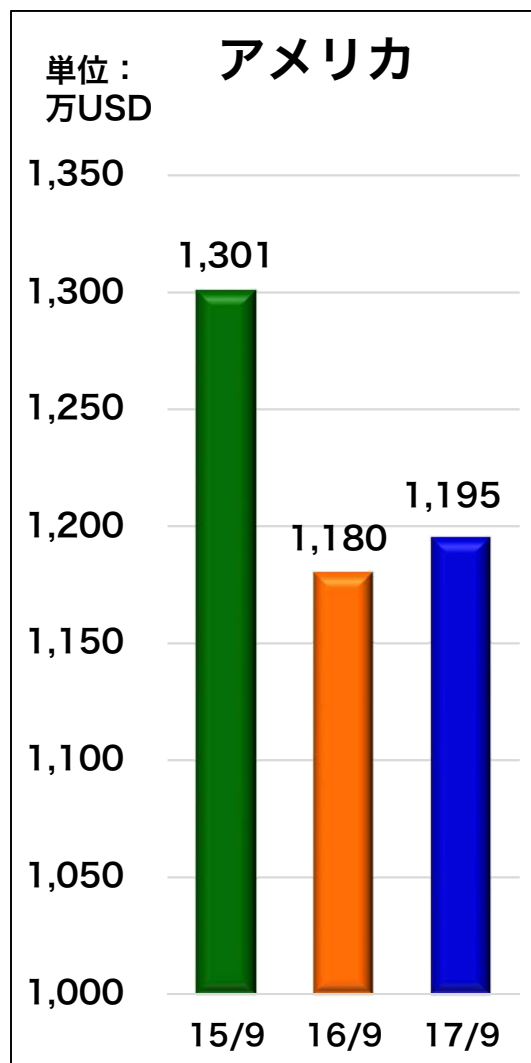
為替（平均レート）	2016年度2Q	2017年度2Q	増減率	2017年度計画
USD	105.20	111.04	5.6%	105.00
CAD	81.10	85.58	5.5%	78.00
元	15.92	16.42	3.1%	15.40
WON (100W)	9.22	9.83	6.6%	9.10
ルピア (100Rp)	0.80	0.84	5.0%	0.80
台湾ドル	3.28	3.67	11.9%	3.30
ブラジルリアル	31.18	34.83	11.7%	32.50
タイバーツ	3.00	3.28	9.3%	2.90

海外売上状況

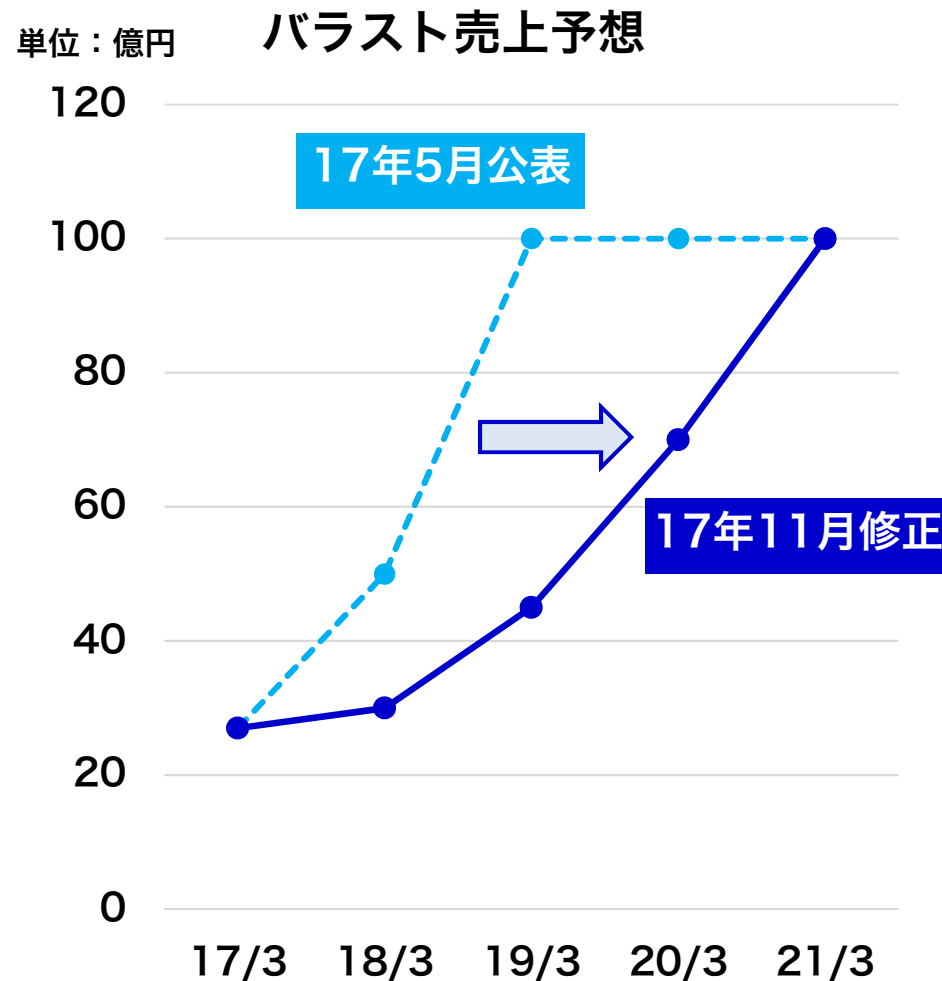
単位：億円



主な海外売上の状況（現地通貨ベース）



バラスト売上予想の修正



バラスト水処理装置搭載時期の変更

(就航船) 2017年9月以降
定期検査時

2年延期

(就航船) 2019年9月以降
定期検査時

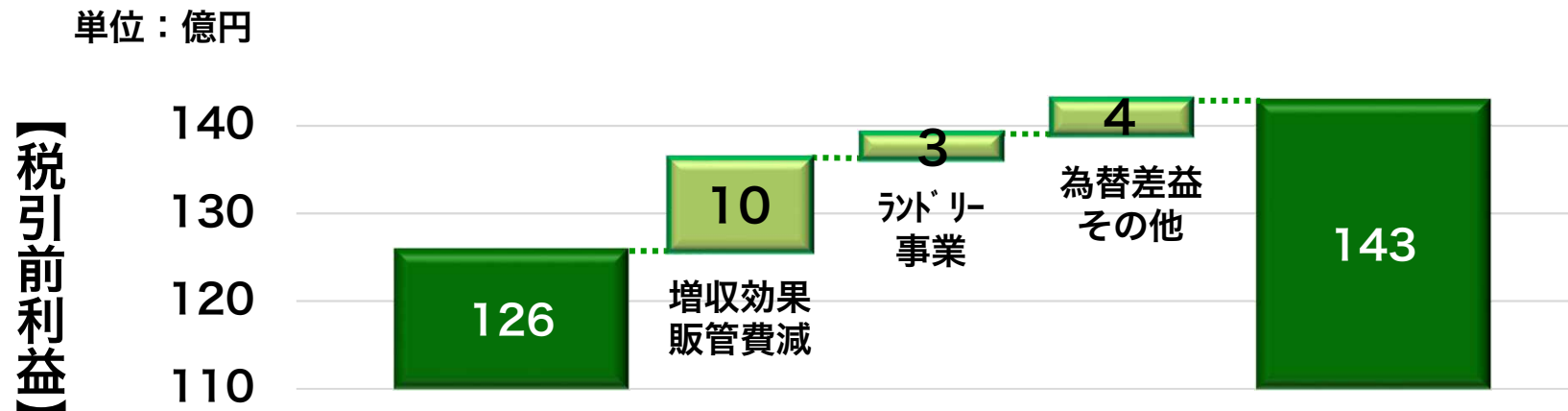
USCGのTA取得予定の変更

2018年3月までに
取得予定

1年遅れ

2019年3月までに
取得予定

2018年3月期業績予想の修正



3. 利益配分、株式の状況

3 利益配分、株式の状況

① 安定的な配当の継続

② 連結配当性向30%を目処



17年3月期

中間 10円
期末 12円
合計 22円

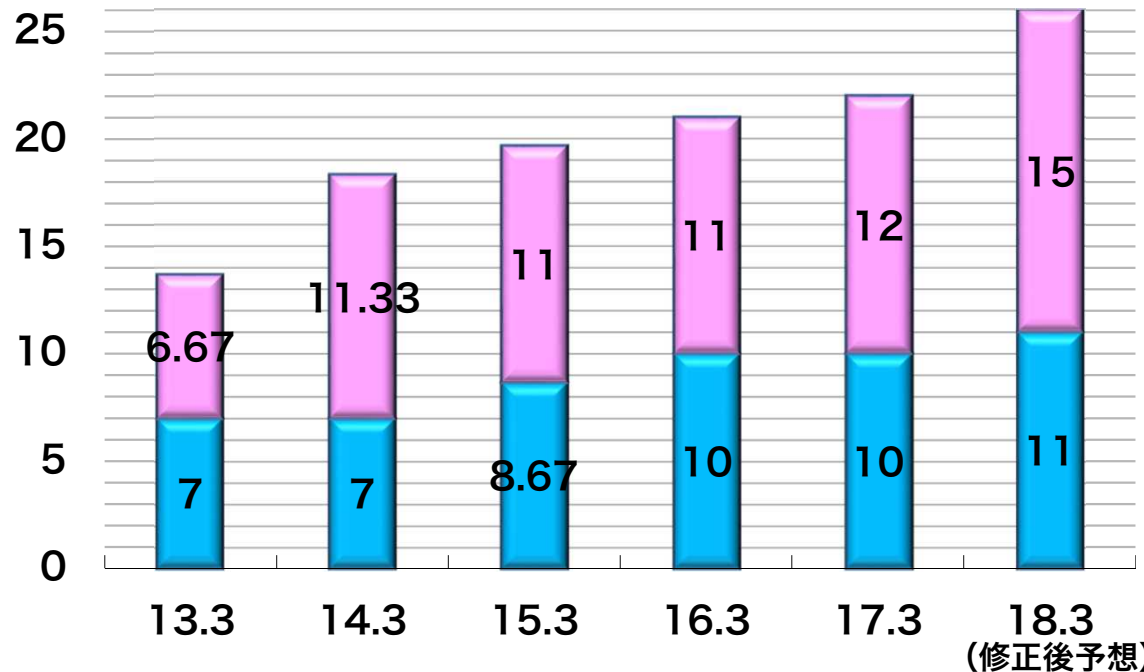
18年3月期

中間 11円
期末 15円(修正後)
合計 26円 を予想

単位：円

【1株配当金の推移】

■ 中間 ■ 期末



4円増配
(予想)

(ご参考)

自己株式の保有状況

※ 2017年9月30日時点

・発行済株式総数（自己株式除く）
112,546,559 株

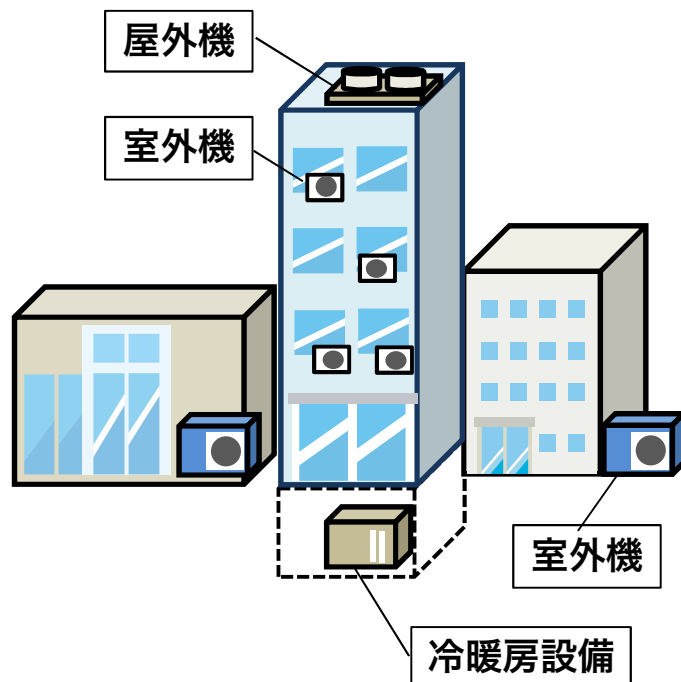
・自己株式数
12,744,553 株

4. 国内戦略＜地冷貫流化戦略＞

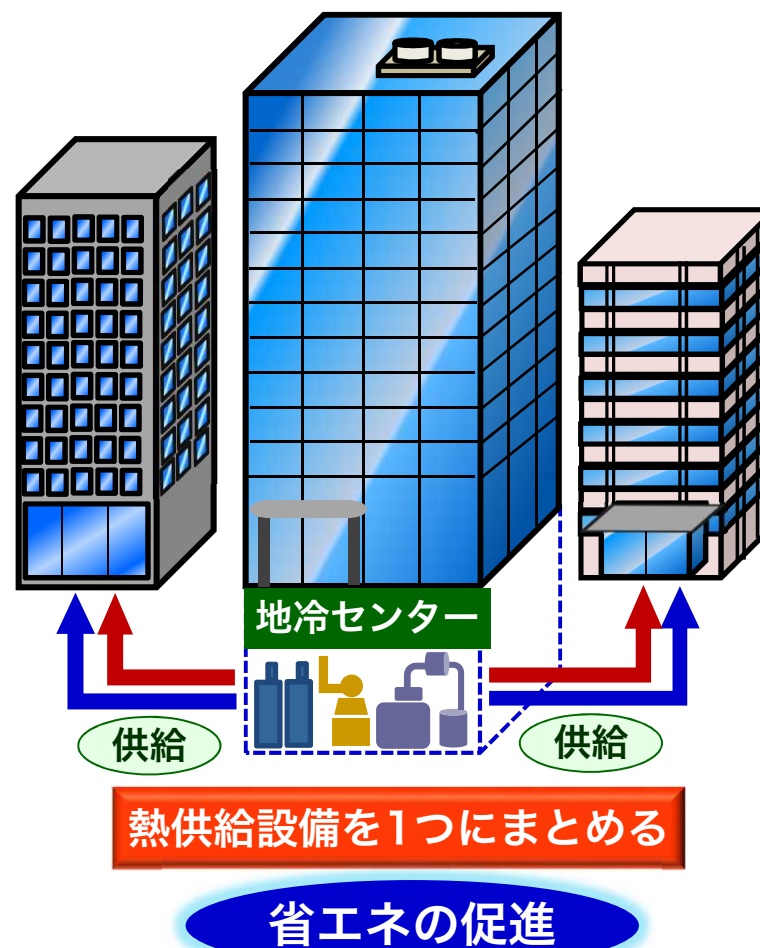
地域冷暖房システム（地冷）とは？

ビル、商業施設、マンションなど地域内の建物へまとめて冷暖房や給湯を行うシステム

一般的な建物別冷暖房方式



地域冷暖房方式

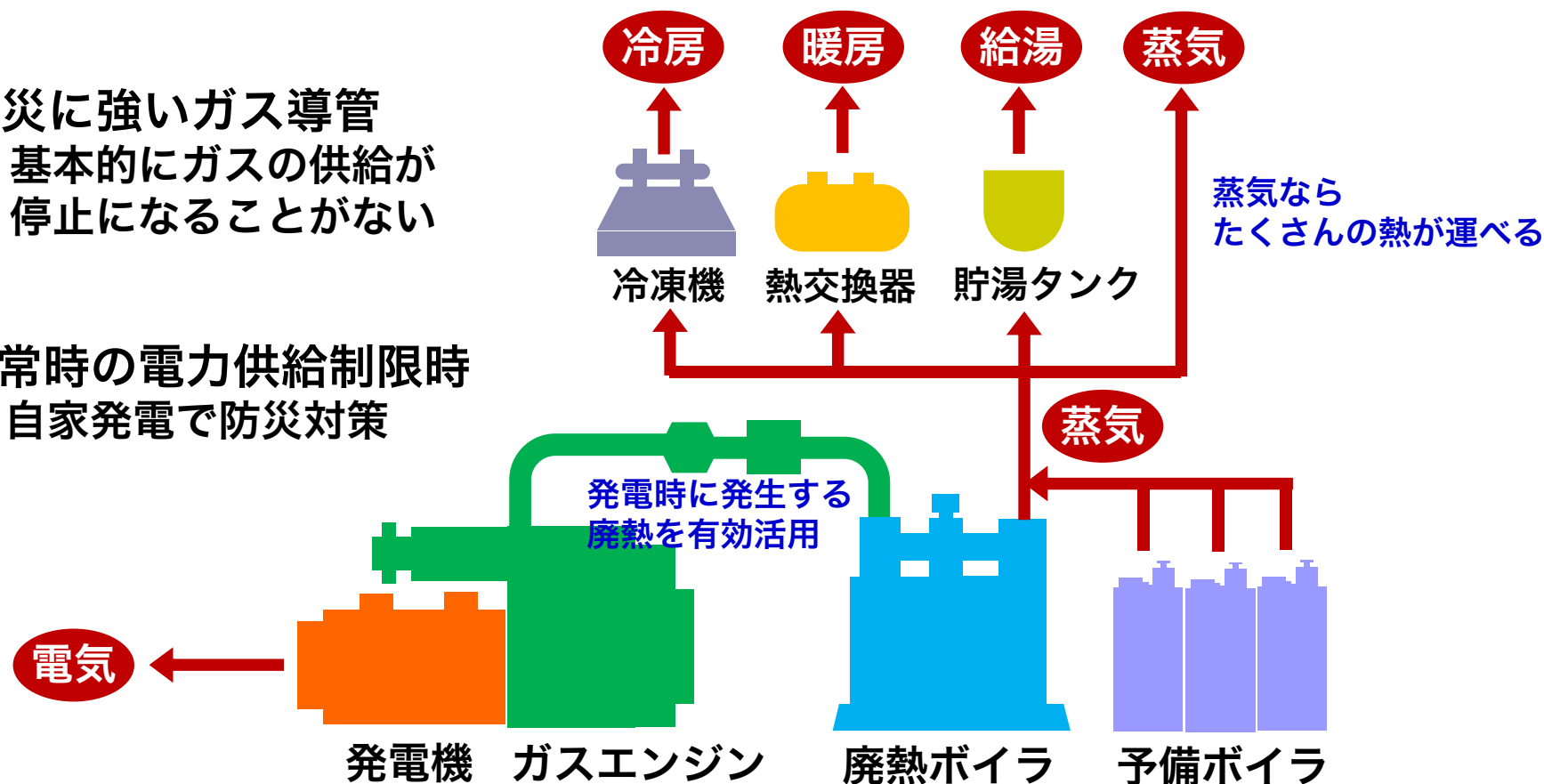


地冷のこれから

BCP（事業継続計画）の役割に注目「コージェネレーションシステム」

震災に強いガス導管
→ 基本的にガスの供給が
停止になることがない

非常時の電力供給制限時
→ 自家発電で防災対策

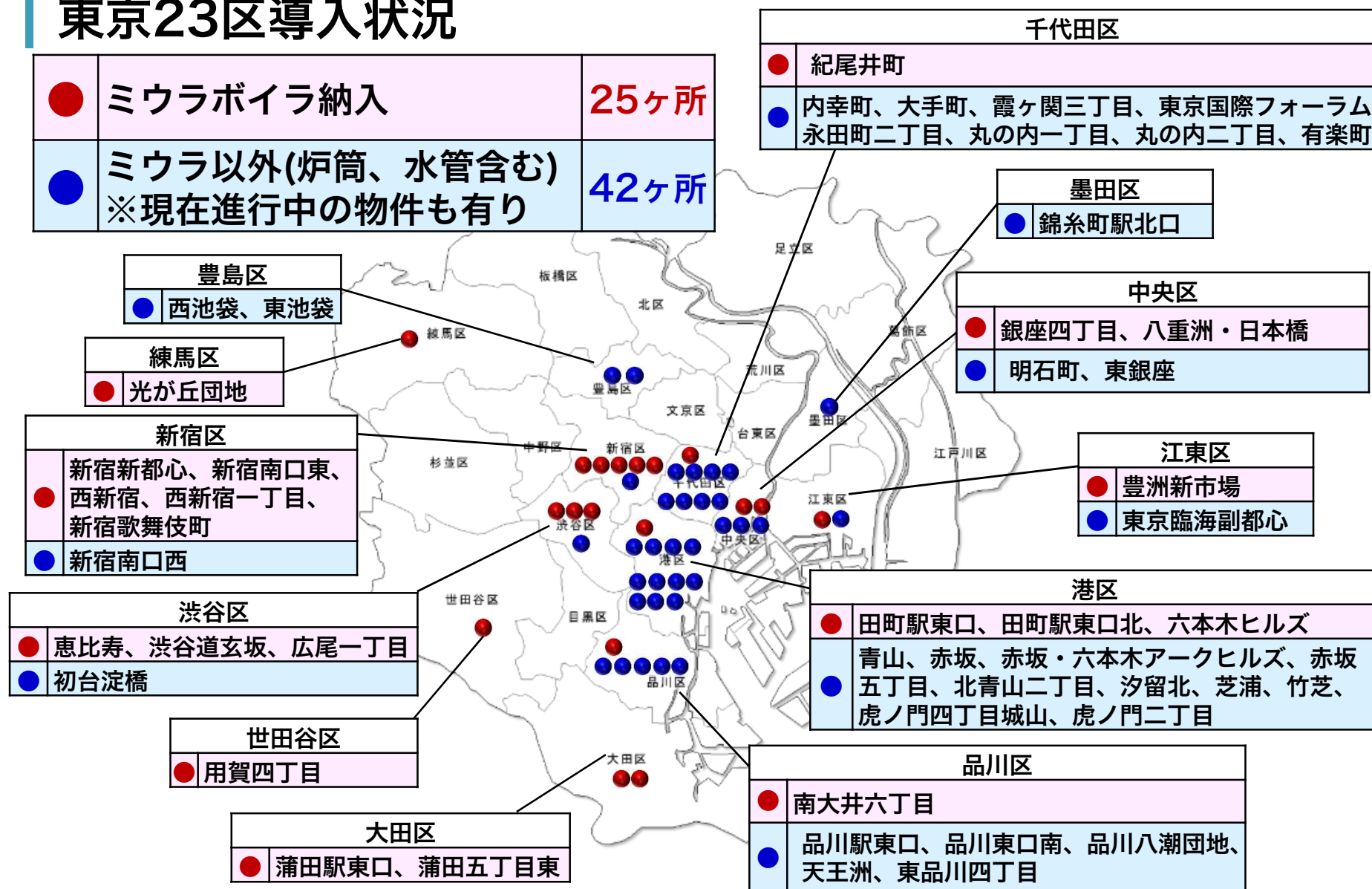


東京駅周辺の地冷（2013年12月 BSジャパン放映「省エネ新時代」より）

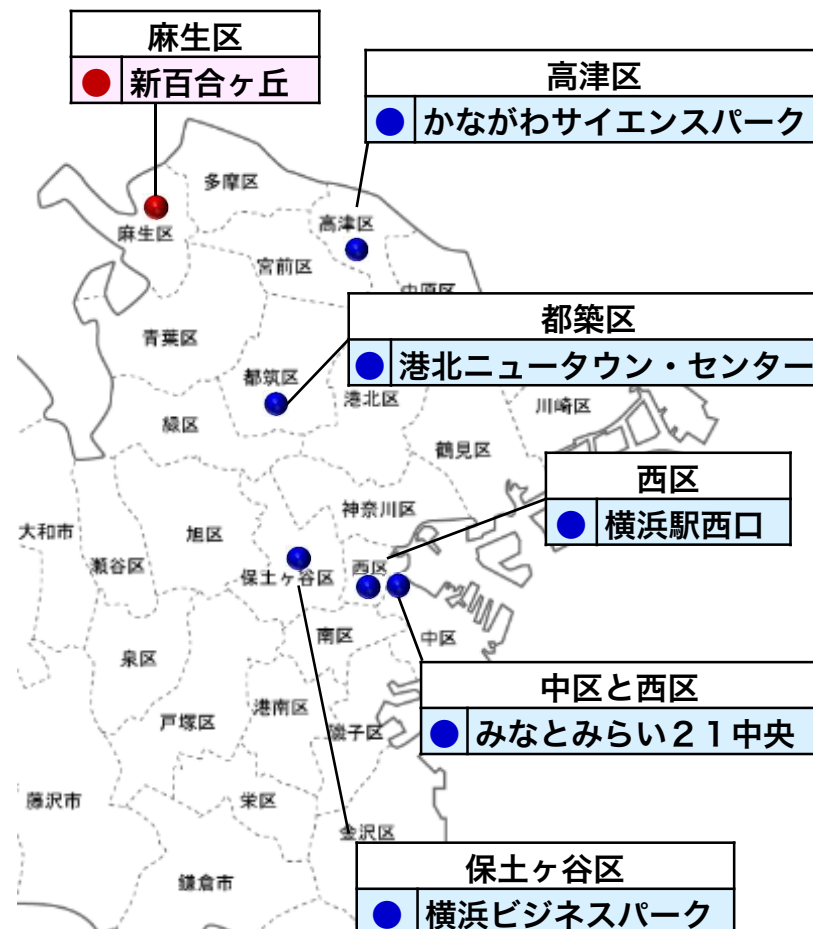


東京23区導入状況

●	ミウラボイラ納入	25ヶ所
●	ミウラ以外(炉筒、水管含む) ※現在進行中の物件もあり	42ヶ所

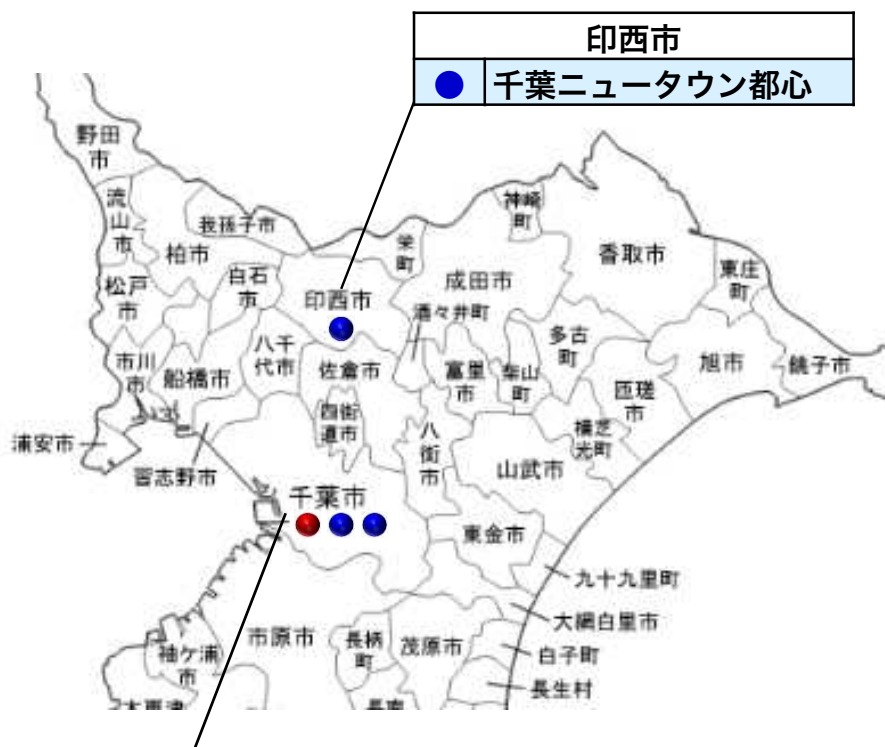


東京都多摩地区、神奈川県導入状況



4 国内戦略＜地冷貫流化戦略＞

千葉県、埼玉県、茨城県導入状況



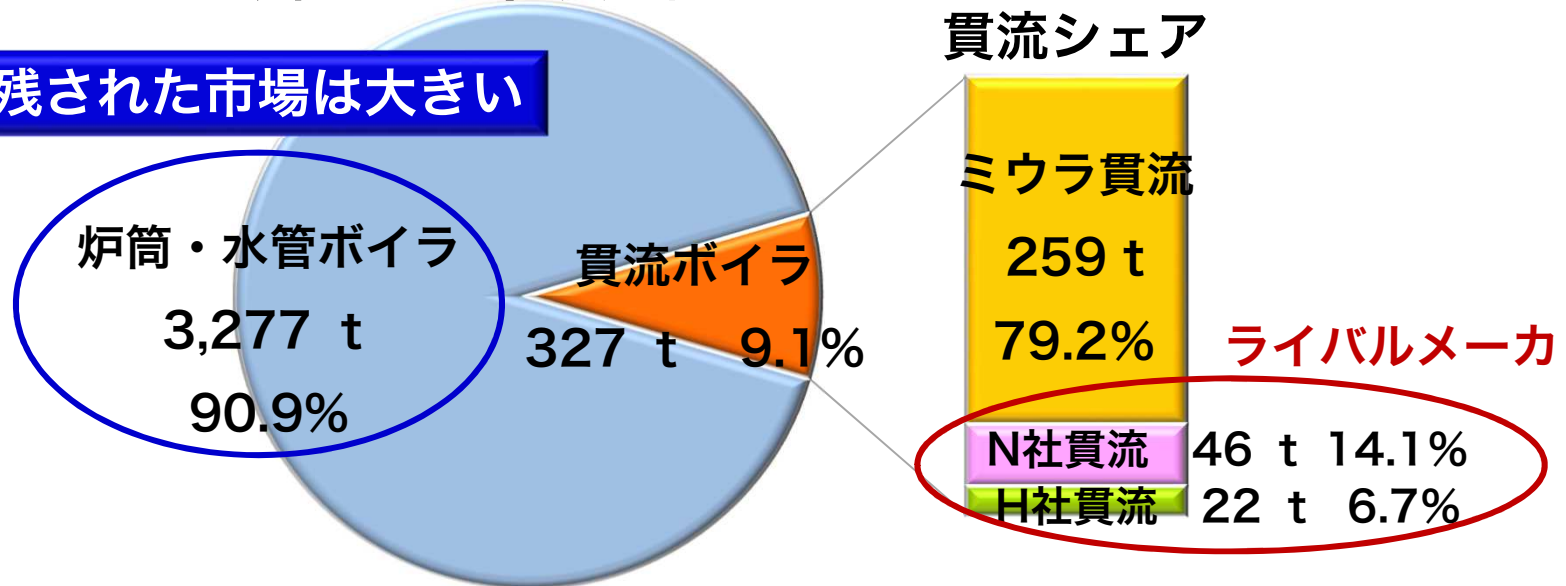
千葉市	
●	問屋町 (中央区)
●	新町 (中央区) 幕張新都心インターナショナル・ビジネス (美浜区)



地冷市場 ※東京都のみ、自社調べ

炉筒・水管／貫流割合

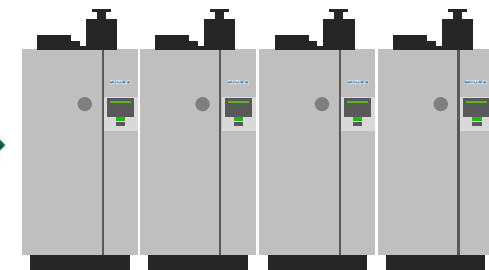
残された市場は大きい



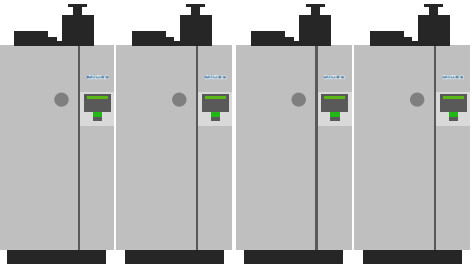
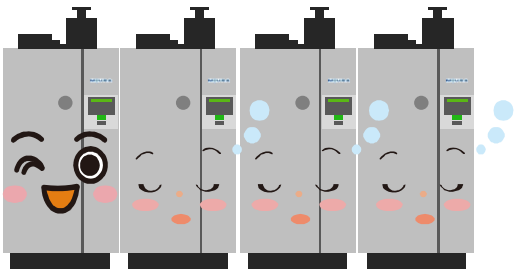
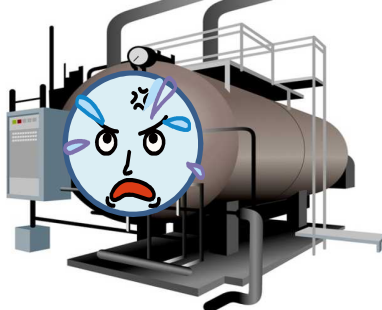
貫流化への流れ



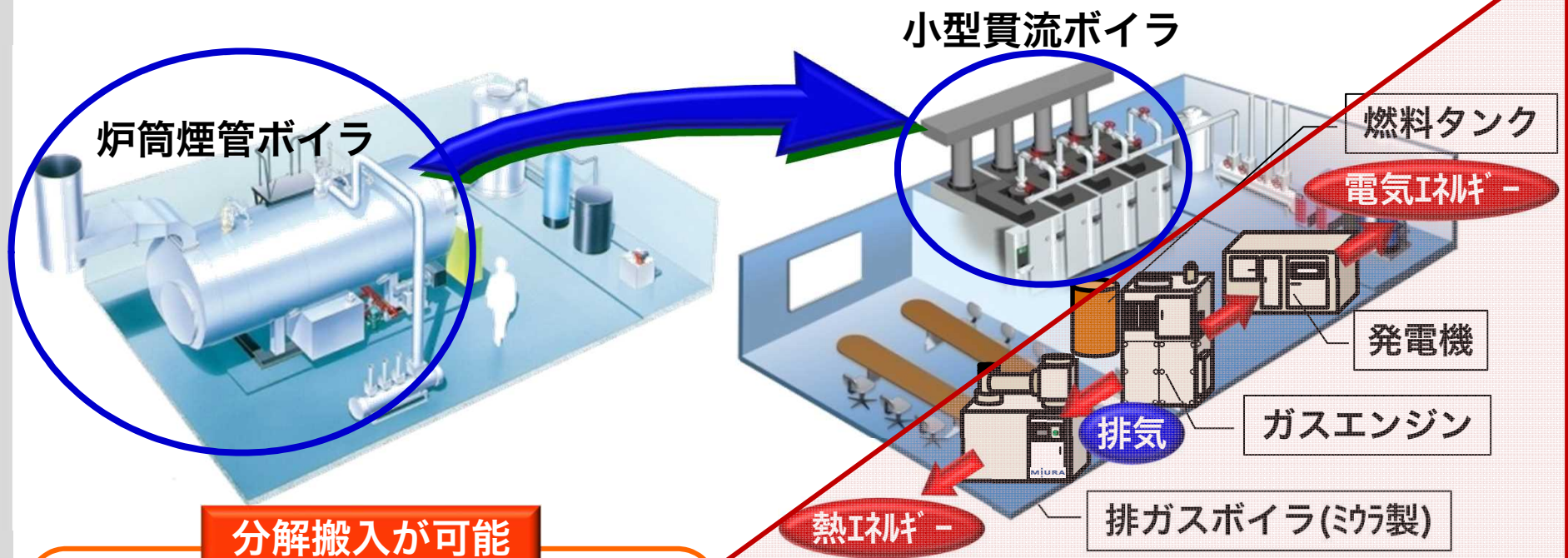
東京都再開発



ミウラのM I システム

	ビルの状況	小さなボイラの並列 (M I システム)	大きなボイラ
日中は負荷 高		 貫流ボイラ	 炉筒煙管ボイラ
夜間は負荷 低		 必要な負荷分だけ稼動 ◎効率が良い	 負荷に関係なく稼動 ×効率が悪い

ミウラのM I システム＜省スペース＞



分解搬入が可能

コスト削減



コージェネレーションシステムの設置

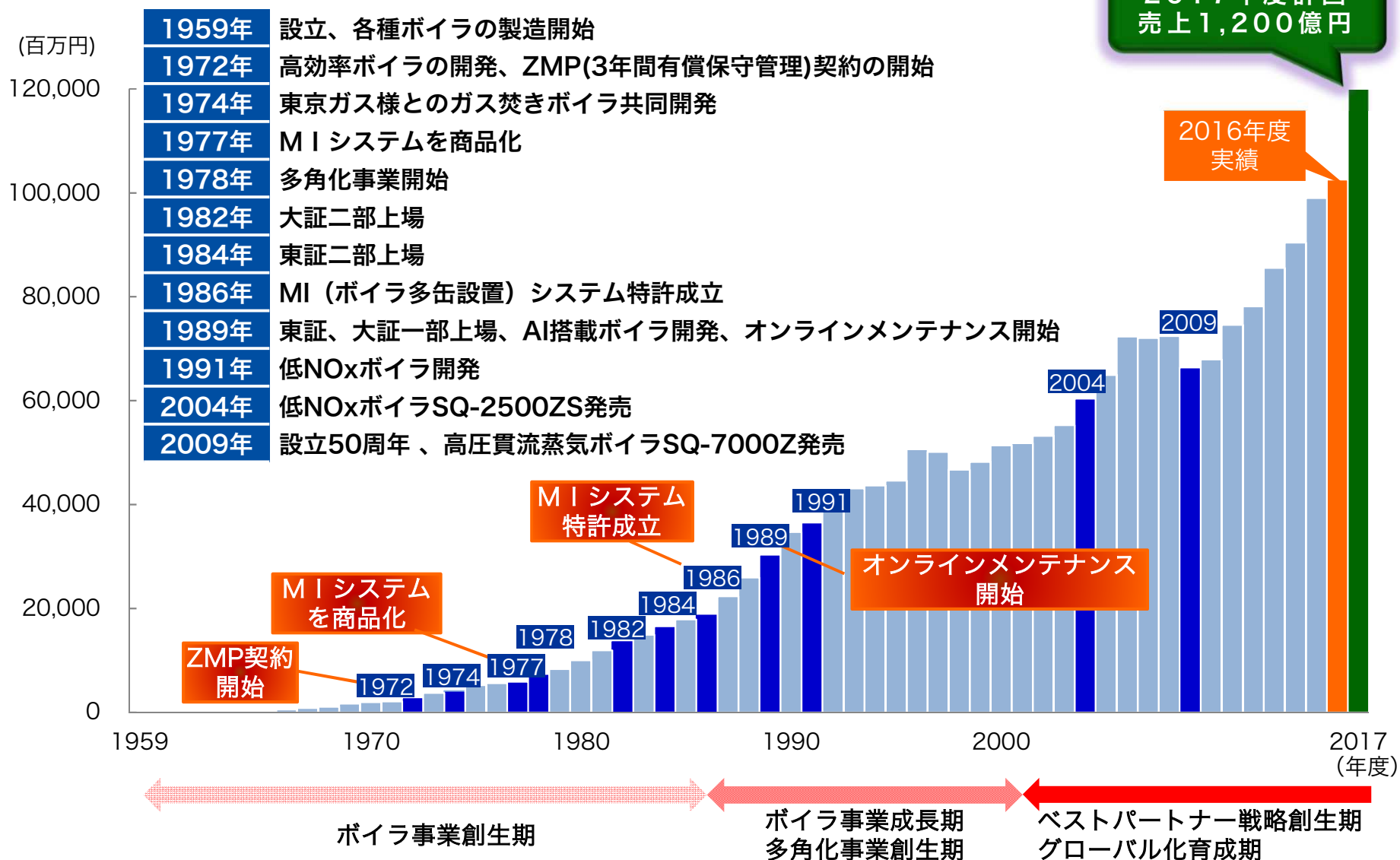
1つのエネルギー源から、電気と熱など複数のエネルギーを取り出して利用するシステム

大震災後の
BCP対応CO₂
削減効果

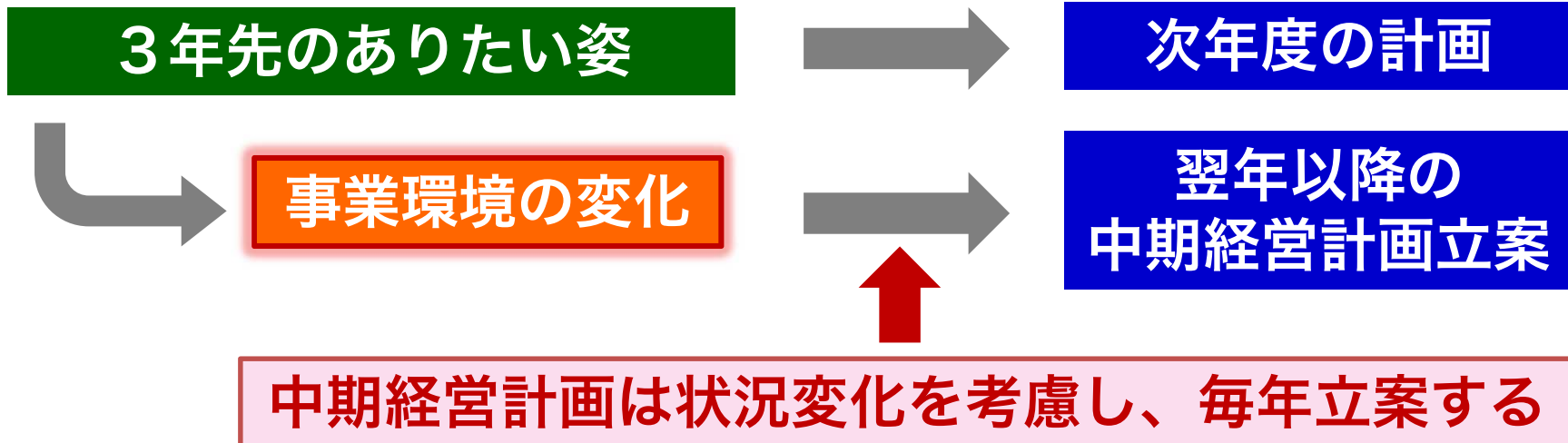
5. 参考資料



業績の推移、沿革



中期経営計画の考え方



ローリング方式

事業環境の変化等を考慮して毎年ローリングする方式

	FY 2016	FY 2017	FY 2018	FY 2019	FY 2020
中期経営計画 2016	2016-2018				
中期経営計画 2017		2017-2019			
中期経営計画 2018			2018-2020		

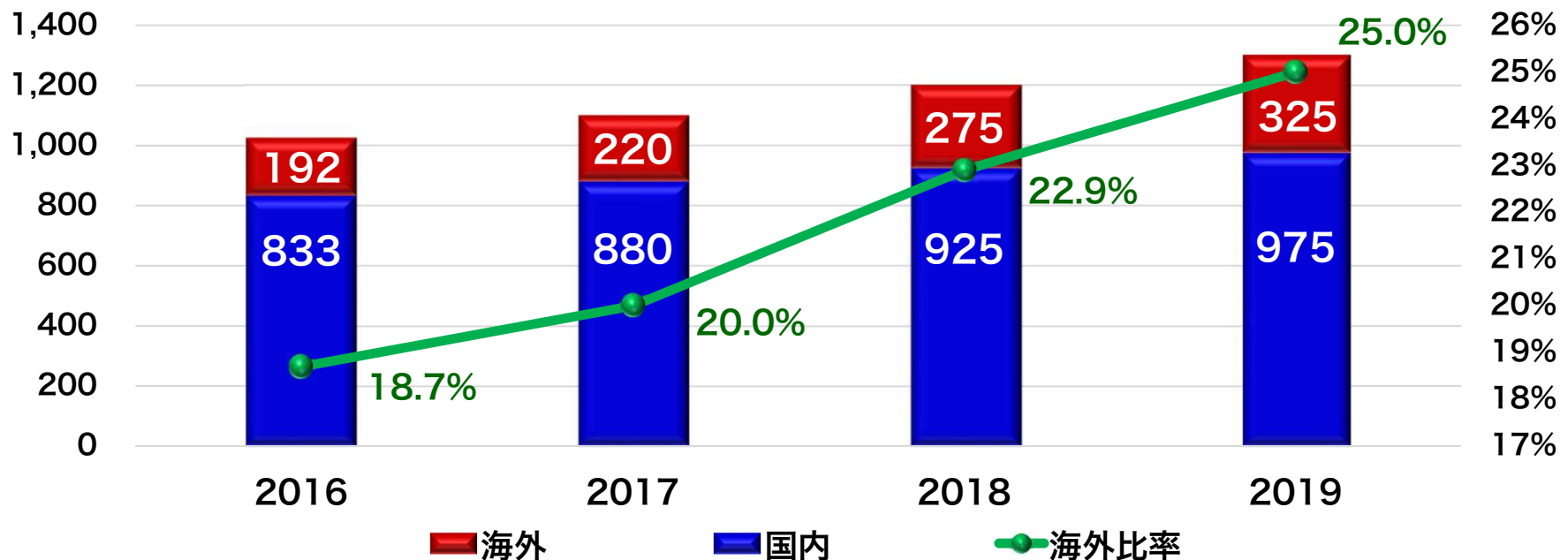
2017年度の中期経営計画（2017年5月公表）

単位：億円

年度	2016年 実績	2017年 計画	2018年 計画	2019年 計画
売上高	1,025	1,100	1,200	1,300
営業利益	105	118	130	145
営業利益率	10.2%	10.7%	10.8%	11.2%

単位：億円

※ 2017年計画よりIFRS適用



中期計画の成長戦略（2017年5月公表）

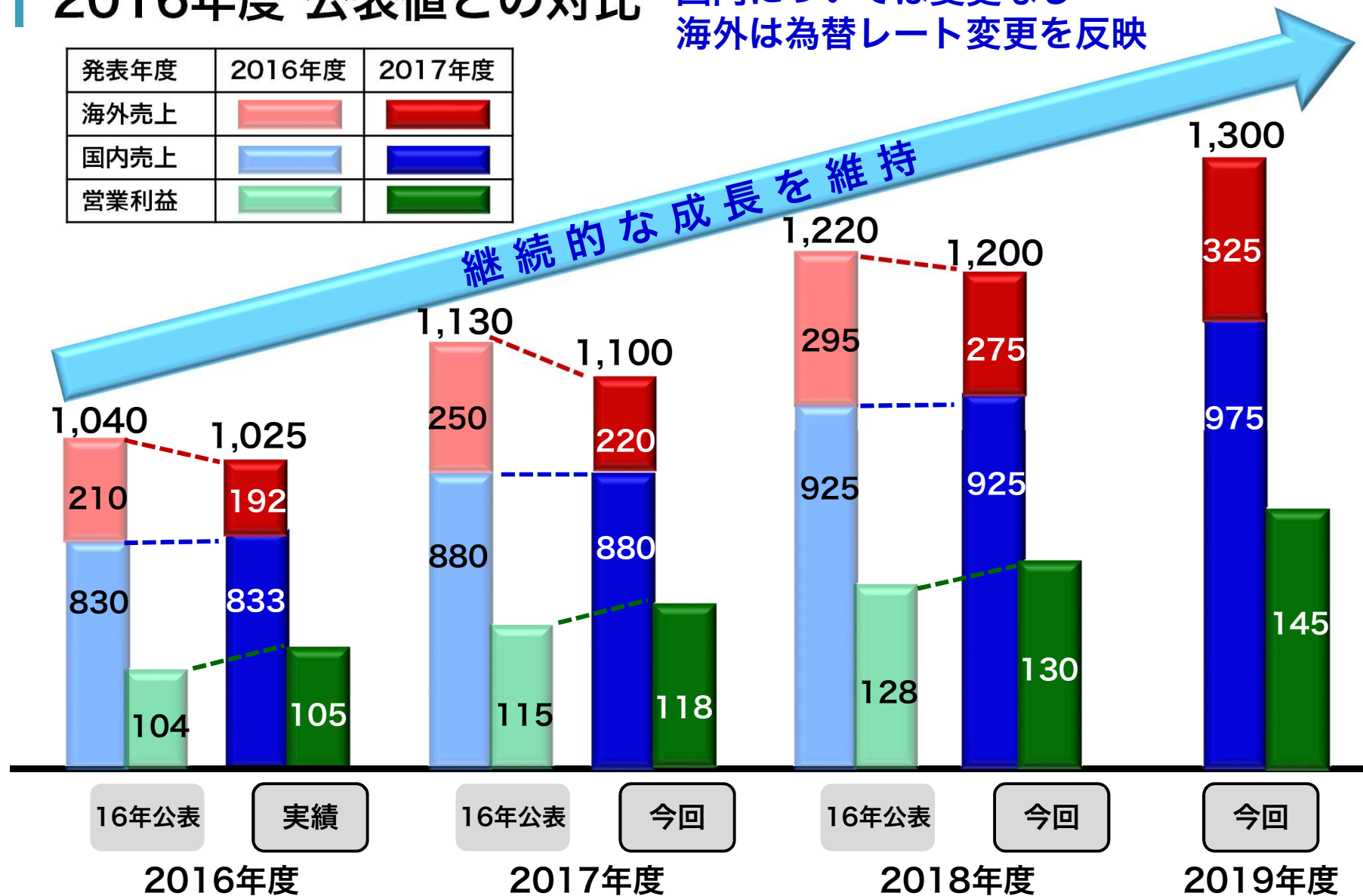
年度		2016年度 実績	2017年度 計画	2018年度 計画	2019年度 計画
国内	合 計	833	880	925	975
	ボイラ	577	579	587	600
	アクア(水処理機器)	28	34	36	44
	船用	87	110	138	160
	食機・メーカ	91	98	103	104
	その他(特機・新事業開発・環境)	50	59	61	67
海外	合 計	192	220	275	325
	米州(アメリカ・カナダ・ブラジル)	37	39	46	48
	韓国	65	66	68	70
	中国	67	90	135	177
	アセアン・台湾	23	25	26	30
合 計		1,025	1,100	1,200	1,300

単位：億円

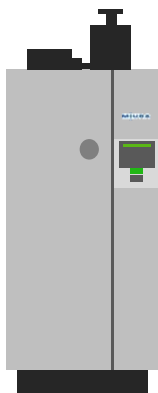
2016年度 公表値との対比

国内については変更なし
海外は為替レート変更を反映

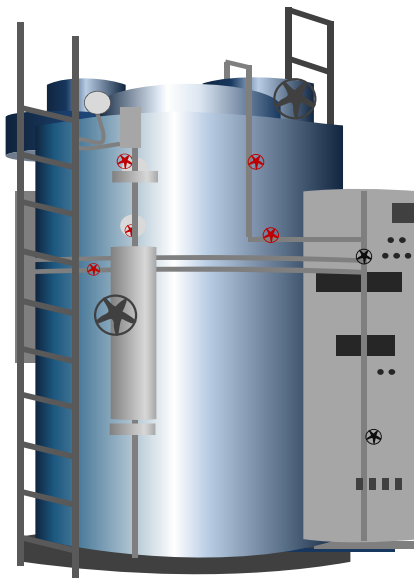
発表年度	2016年度	2017年度
海外売上		
国内売上		
営業利益		



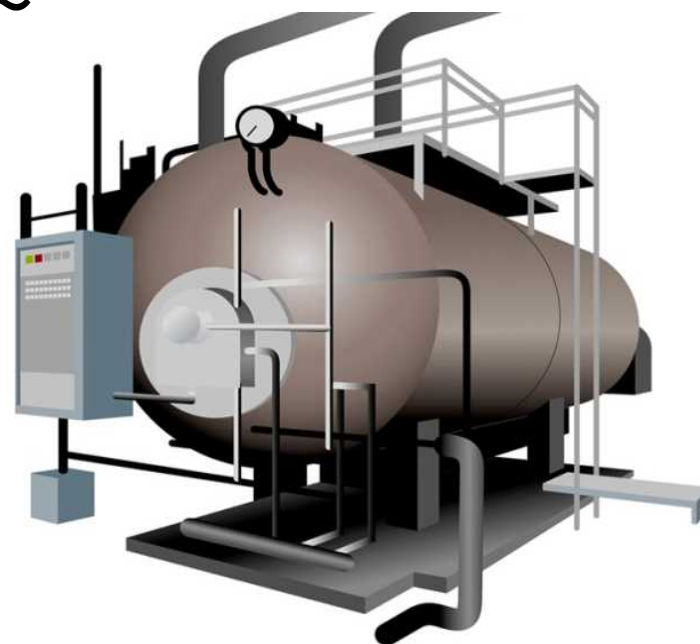
ボイラの種類 ～ 同容量のボイラ比較 ～



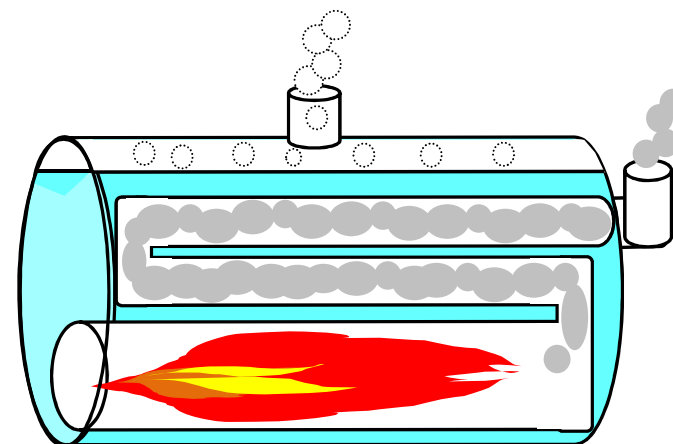
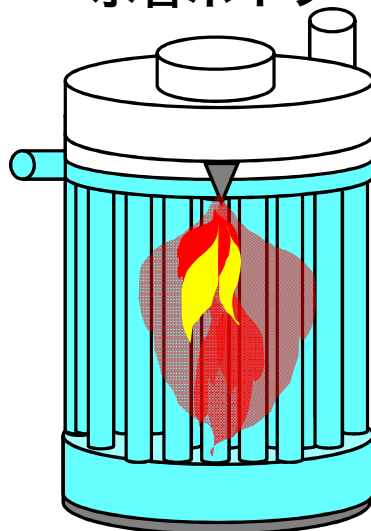
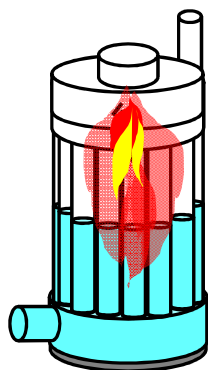
貫流ボイラ



水管ボイラ

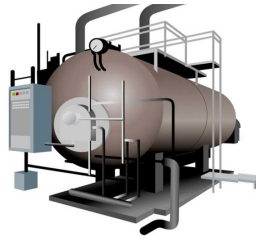


炉筒煙管ボイラ

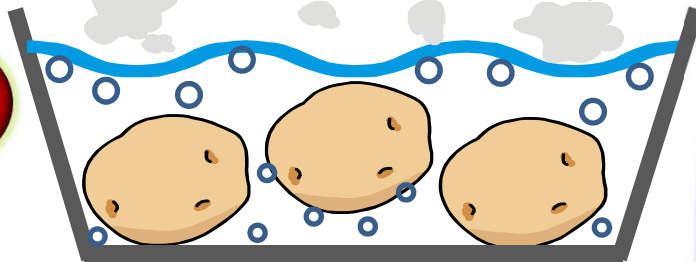


ミウラのMIシステム（Multiple Installation system）とは
必要時に必要なだけの蒸気量を供給し、エネルギーコスト低減やCO₂、
NOx等の排出量削減に繋げる

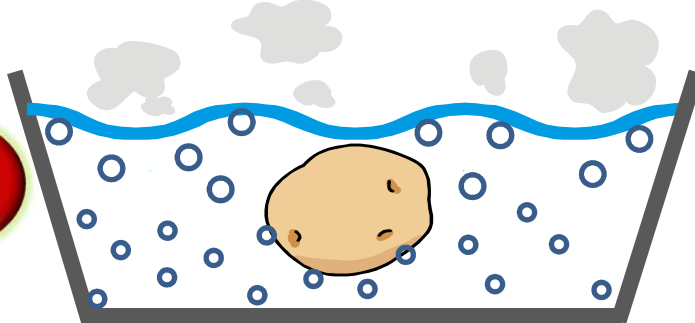
大きなボイラ1台



3個



1個

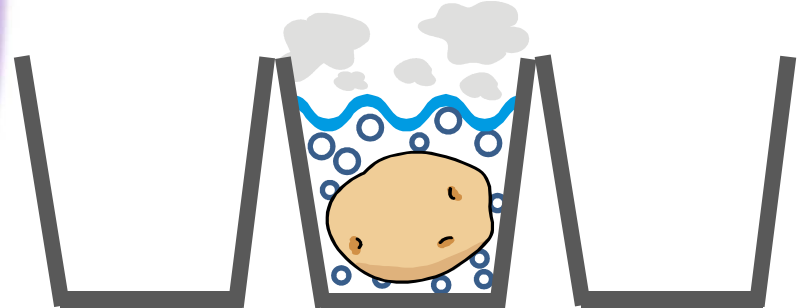
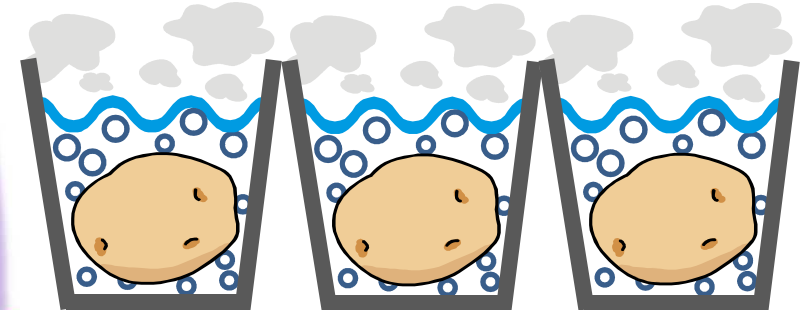
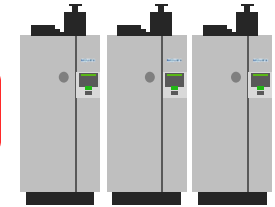


ポテトが減ってもお湯の量は減らない

省エネ化

省スペース化

小さなボイラを複数台



ポテトが減ればお湯の量は少なくなる

省力化

低公害化

なぜMIシステムは
効率的なのか？

ZMP 契約とは？

契約期間

3年毎に契約更新



5期15年

契約内容

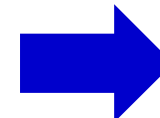
3回／年の点検
交換部品無償

突発故障対応
交換部品無償



異常の察知

故障原因の
事前把握



お客様の
安全安心

早期復旧

水分析

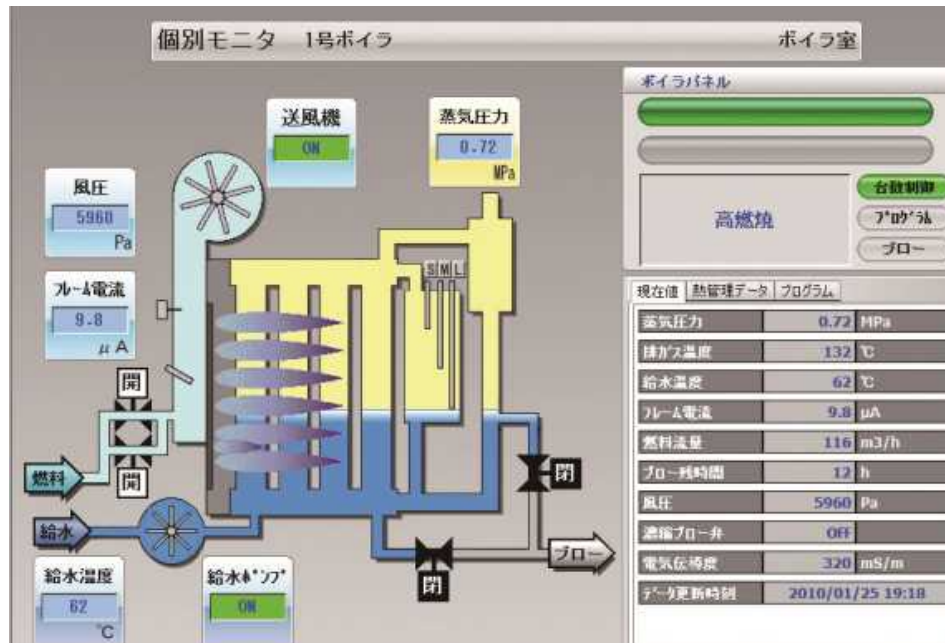


オンラインメンテナンス



オンラインメンテナンス

27年前から「IoT」を活用したハイテクサービスで高い収益性を維持



遠隔監視で状況確認

監視

ユーザー

対処方法を電話連絡
(データ収集・解析)

オンライン管理缶数
約 59,000台
※ボイラ以外の機器も含む
(2017年10月末現在)



出向

現場に行かない

故障の原因がわかる

事前準備出来る

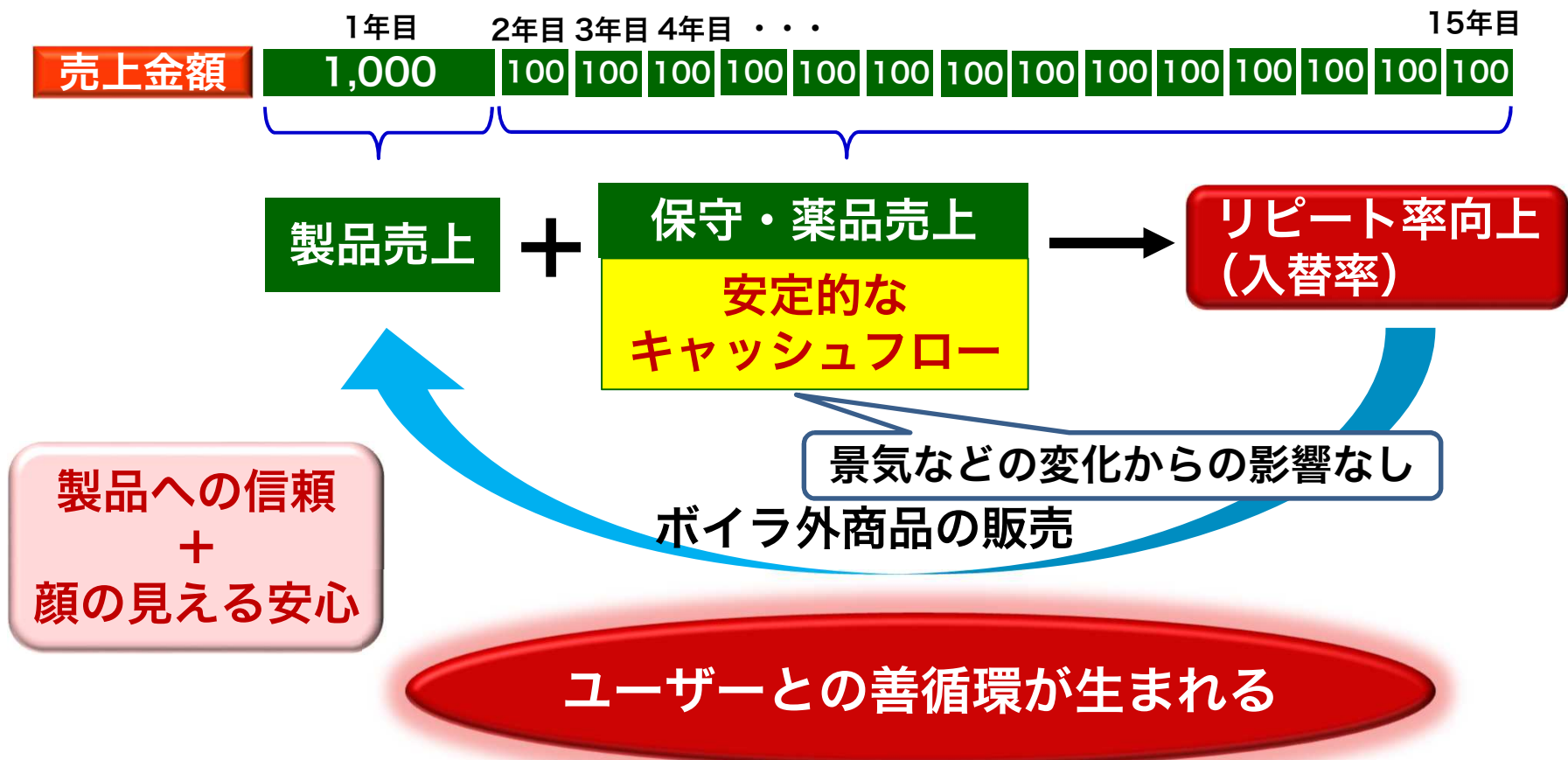
早期回復

1人当りの管理缶数の増加、効率的メンテ、
メンテナンス員を3K（危険・汚い・きつい）から解放

ボイラのライフサイクルとミウラのビジネスモデル

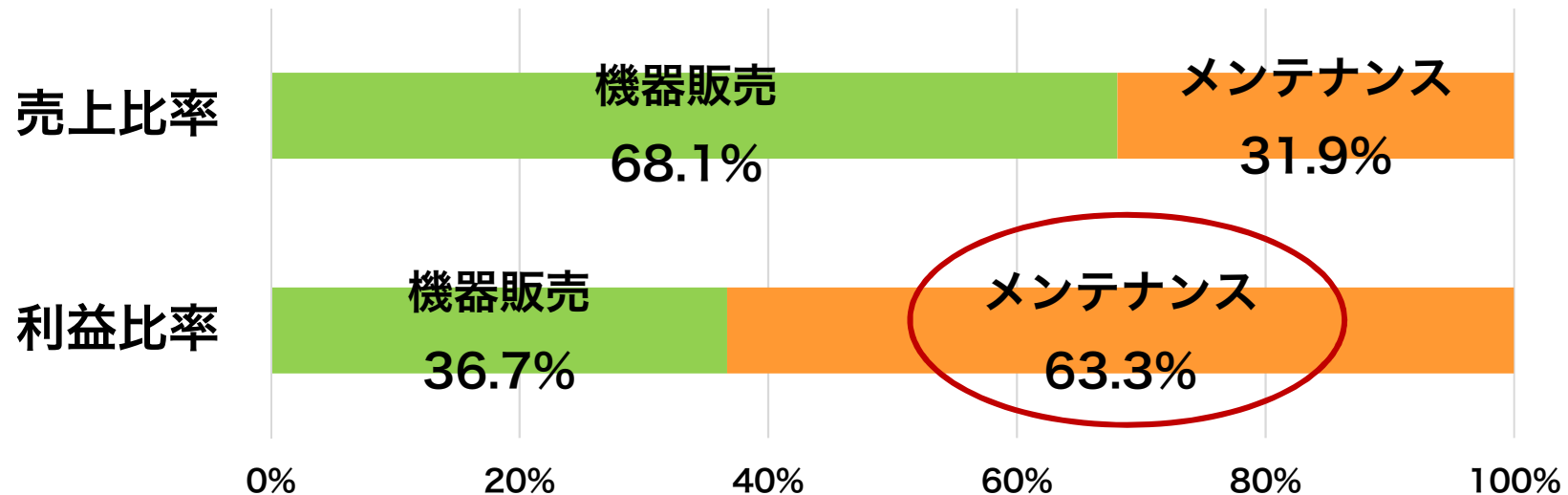
製品の売切ではなく、納品後の保守売上、消耗品売上が継続する

ボイラの寿命を15年とした場合



利益率の高いメンテ事業

※2017年3月期 ミウラグループ全体



ミウラメンテナンス ネットワーク

拠点数

約100ヶ所

サービスエンジニア

約1,150名



中長期的な経営戦略

国内戦略

- ① トータルソリューション
- ・ ミウラの製品で、工場全体のエネルギー効率の向上を図り、オールミウラのワンストップメンテナンスを実現する

- ② バラスト水処理装置
- ・ USCGの型式認証取得
 - ・ ボイラで培った技術力、メンテナンス力、お客様との信頼関係を活かし、優位に立つ

海外戦略

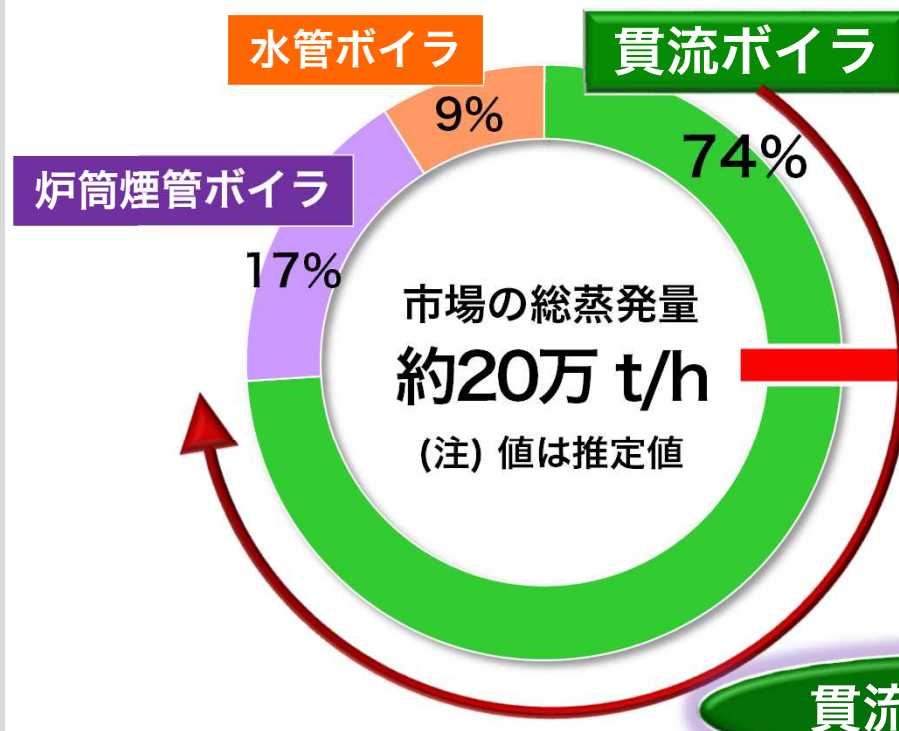
- ① ビール戦略
- ・ 世界的規模のビール会社へMIシステムのメリットを省エネ提案する
 - ・ 納入実績を重ね、ミウラボイラの世界展開をはかる

- ② 中国の石炭焚きボイラの入替
- ・ 中国の大気汚染の深刻化により、石炭からガス化へ法的規制が強化された。法的な要求に応えるために、日本で培われたガス焚きボイラの技術を導入する
 - ・ 日本と同様のメンテナンスを提供するために、拠点展開をはかる

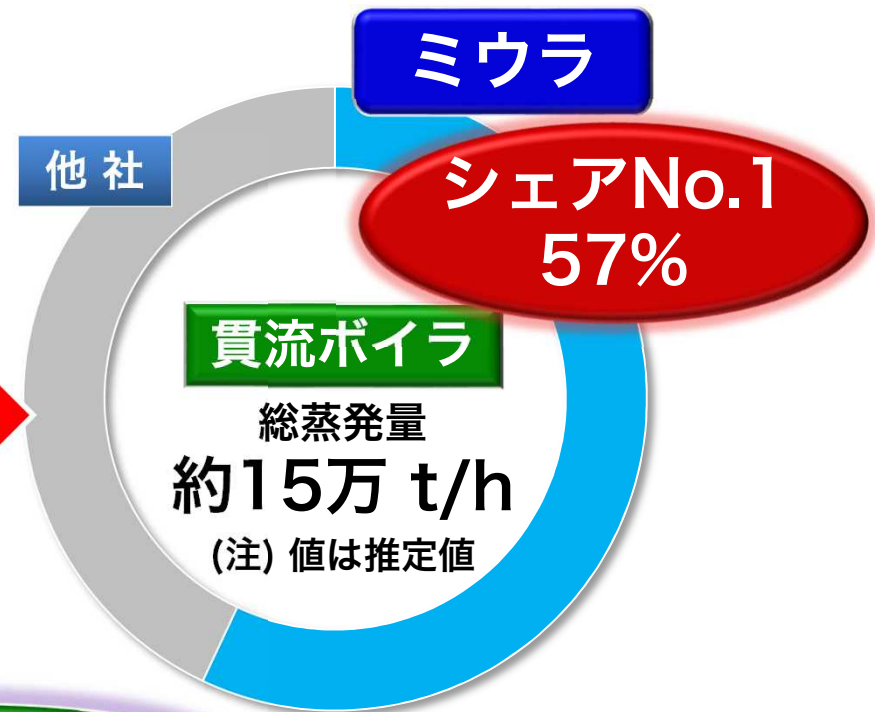
国内の業界シェア

※発電用を除く・2017年9月自社調べ

国内のボイラ市場



国内の貫流ボイラ市場



主な競合メーカー

(株)日本サーモエナー
(株)サムソン

(株)IHI汎用ボイラ
川重冷熱工業(株)

(株)ヒラカワ
(株)よしみね

(注) 貫流ボイラのシェアは、当社の独自調査に基づくものであり、実際の値とは異なる可能性があります。

成熟しつつある国内市場で何を提案していくか？



ボイラ外商品

水処理装置

食品機器

医療用機器

ランドリー

船用機器

船用ボイラ

バラスト水処理装置

愛媛県立中央病院 様

～ B C P (Business continuity planning) を考慮した緊急事態への備え～



燃料切替ボイラ



真空冷却機



蒸気滅菌システム



減圧沸騰式洗浄器



ろ過装置

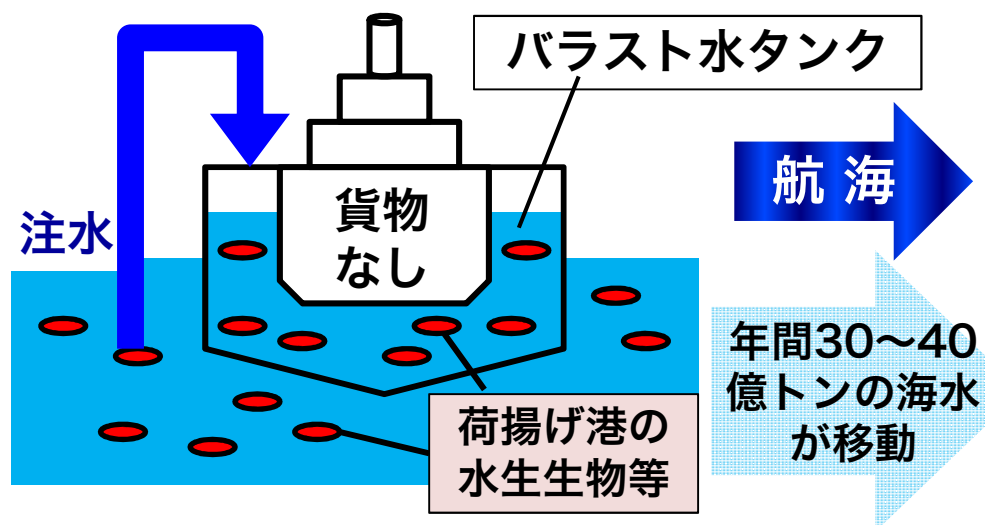
食品工場における食品機械トータルソリューション



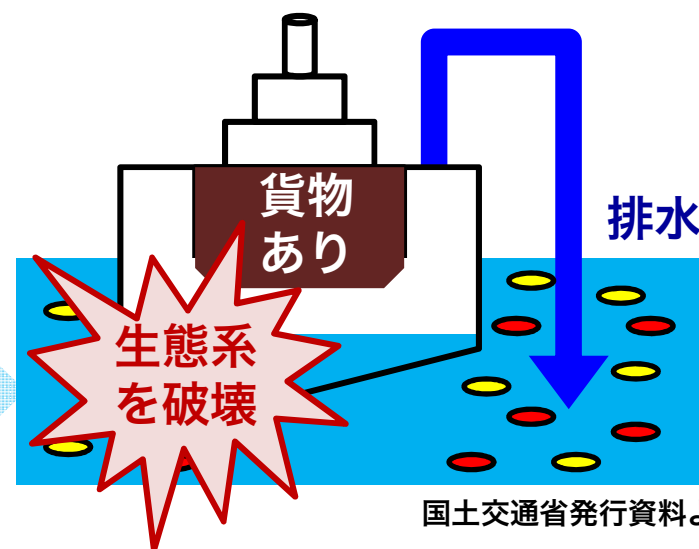
バラスト水問題「新しい市場の誕生」

バラスト水とは、荷物を積んでいない船を安定させるために、船内のタンクへ取り込まれる水のことをいう

荷揚げ港



積み荷港



「荷揚げ港」から
「積み荷港」への
水生生物等
の移動

生態系破壊
の
環境問題

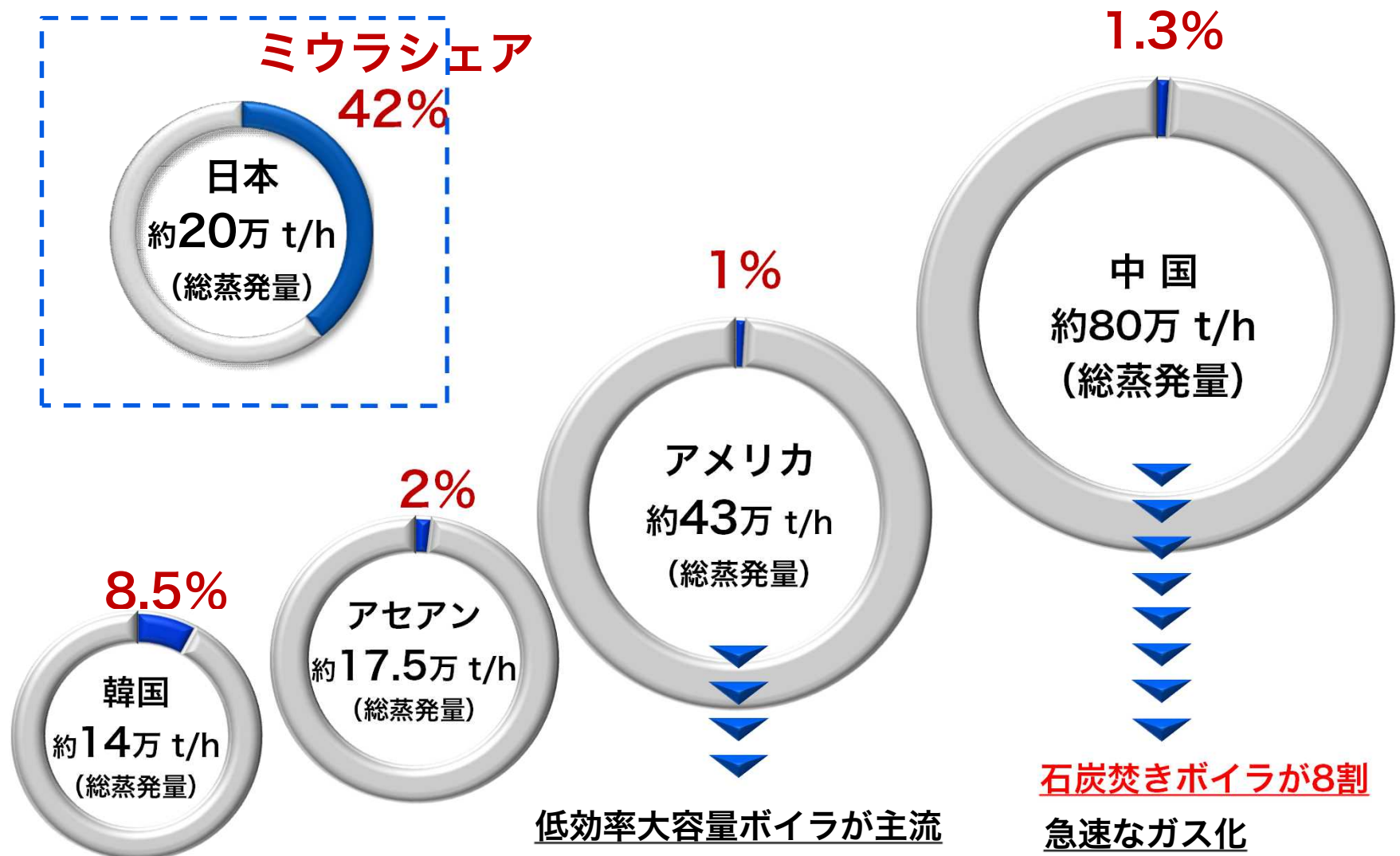
2017年9月8日に発効とIMO発表！

2004年
バラスト水管理条約を採択

IMO国際海事機関加盟国約170ヶ国が採択

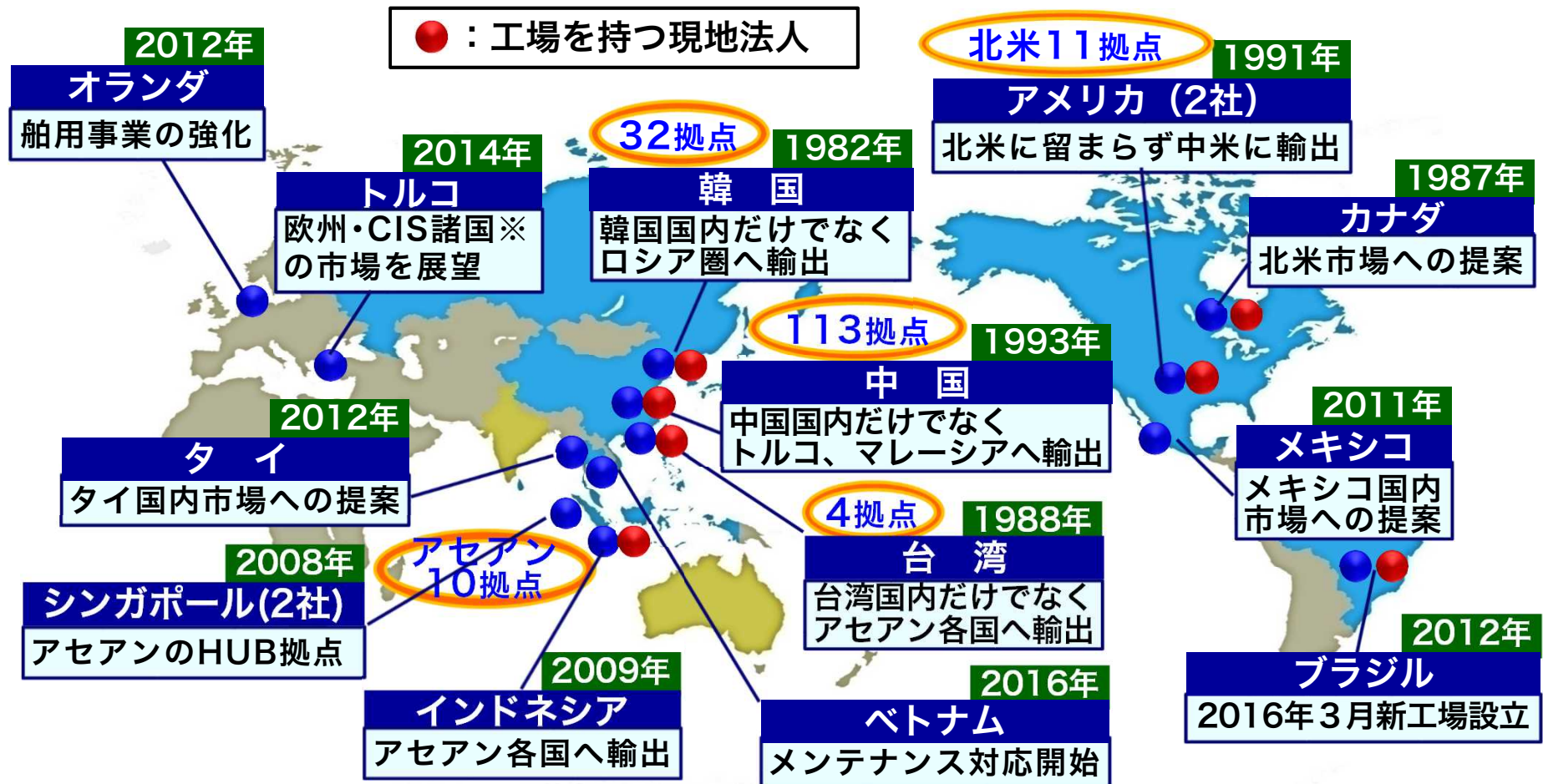
ボイラ市場（ミウラの市場占有率）

*総蒸発量ベース・2017年9月自社調べ



適地適産適販・グローバル販売網の構築

海外15社・7工場・19ヶ国で営業、メンテナンス拠点展開



※CIS諸国：独立国家共同体(Commonwealth of Independent States) アゼルバイジャン・アルメニア・ウズベキスタン・カザフスタン・キルギス・タジギスタン・トルクメニスタン・ベラルーシ・モルドバ・ロシア (トルクメニスタン、モルドバの2国は客員参加国)

中国のガス供給網と拠点展開

中国の空をきれいな青空にしたい



熱・水・環境のベストパートナー

世界のお客様に省エネルギーと環境保全でお役に立つ



アトランタ工場



愛媛県 北条工場



インドネシア カラワン工場

世界一安くて良い熱・水・環境商品を世界のお客様に届けよう

ご清聴ありがとうございました

熱・水・環境のベストパートナー



問い合わせ先

三浦工業株式会社 経営企画室

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <http://www.miuraz.co.jp>